

クレセンバカプセル40mg クレセンバカプセル100mg

【この薬は？】

販売名	クレセンバカプセル 40mg CRESEMBA Capsules 40mg	クレセンバカプセル 100mg CRESEMBA Capsules 100mg
一般名	イサブコナゾニウム硫酸塩 Isavuconazonium Sulfate	
含有量 (1カプセル 中)	イサブコナゾニウム硫酸 塩74.5mg (イサブコナゾールとし て40mg)	イサブコナゾニウム硫酸塩1 86.3mg (イサブコナゾールとして 100mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、深在性真菌症治療剤（アゾール系抗真菌剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、感染症の原因となる真菌（カビの一種）の細胞膜の構成成分の生合成を妨げることにより、抗真菌作用を示します。
- ・次の病気の人に処方されます。

下記の真菌症の治療

- ・アスペルギルス症（侵襲性アスペルギルス症、慢性進行性肺アスペルギルス症、単純性肺アスペルギローマ）
- ・ムーコル症
- ・クリプトコックス症（肺クリプトコックス症、播種性（はしゅせい）クリプトコックス症（クリプトコックス脳髄膜炎を含む））
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・次の薬を使用している人：リトナビル（ノービア）、コビシスタット含有製剤（ゲンボイヤ、シムツーザ、プレジコビックス）、イトラコナゾール（イトリゾール）、ボリコナゾール（ブイフェンド）、クラリスロマイシン（クラリス、クラリシッド）、リファンピシン（リファジン）、リファブチン（ミコブティン）、カルバマゼピン（テグレトール）、フェノバルビタール（フェノバル）、フェニトイン（アレビアチン、ヒダントール）、ホスフェニトインナトリウム水和物（ホストイン）、ロミタピドメシル酸塩（ジャクスタピッド）
- ・次の食品を使用している人
セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）含有食品
- ・過去にこの薬の成分で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・過去に他のアゾール系抗真菌剤で過敏症のあった人
- ・先天性QT短縮症候群の人
- ・肝臓に障害がある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬[リトナビル（ノービア）、コビシスタット含有製剤（ゲンボイヤ、シムツーザ、プレジコビックス）、イトラコナゾール（イトリゾール）、ボリコナゾール（ブイフェンド）、クラリスロマイシン（クラリス、クラリシッド）、リファンピシン（リファジン）、リファブチン（ミコブティン）、カルバマゼピン（テグレトール）、フェノバルビタール（フェノバル）、フェニトイン（アレビアチン、ヒダントール）、ホスフェニトインナトリウム水和物（ホストイン）、ロミタピドメシル酸塩（ジャクスタピッド）] や食品[セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）含有食品]、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○この薬の使用前に原因となる真菌の培養検査、病理組織学的検査などが行われます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

40mgカプセルの場合

服用回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目以降
前回服用からの服用間隔	—	8時間後	8時間後	8時間後	8時間後	8時間後	12～24時間後	24時間後
1回の服用量	5カプセル	5カプセル	5カプセル	5カプセル	5カプセル	5カプセル	5カプセル	5カプセル
備考	約8時間おきに1回5カプセル服用						6回目の12～24時間後より1日1回5カプセル服用	1日1回5カプセル服用

100mgカプセルの場合

服用回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目以降
前回服用からの服用間隔	—	8時間後	8時間後	8時間後	8時間後	8時間後	12～24時間後	24時間後
1回の服用量	2カプセル	2カプセル	2カプセル	2カプセル	2カプセル	2カプセル	2カプセル	2カプセル
備考	約8時間おきに1回2カプセル服用						6回目の12～24時間後より1日1回2カプセル服用	1日1回2カプセル服用

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください、ただし、次の飲む時間が近い場合は、1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・肝機能障害があらわれることがありますので、定期的に肝機能検査が行われることがあります。
- ・急性腎障害、腎不全があらわれることがありますので、定期的に腎機能検査が行われることがあります。
- ・QT間隔の短縮があらわれることがありますので定期的に心電図検査が行われることがあります。
- ・妊娠する可能性のある人は、この薬の使用中小および使用終了後一定期間は適切な避妊をしてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

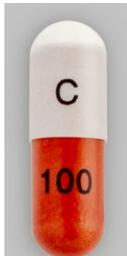
特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
腎不全 じんふぜん	尿量が減る、むくみ、体がだるい
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白(そうはく)、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸(どうき)、息苦しい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、むくみ、冷汗が出る、ふらつき
頭部	意識の消失、めまい
顔面	顔面蒼白
眼	目の充血やただれ
口や喉	吐き気、唇や口内のただれ、喉のかゆみ
胸部	動悸、息苦しい
腹部	食欲不振
手・足	手足が冷たくなる
皮膚	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、全身のかゆみ、じんま疹
尿	尿量が減る

【この薬の形は？】

販売名	クレセンバカプセル 40mg	クレセンバカプセル 100mg
形状	硬カプセル剤 	硬カプセル剤 
長径	15.9mm	24.2mm
短径	5.8mm	7.7mm
重さ	282mg	696mg
色	キャップ：濃い黄赤色 ボディ：濃い黄赤色	キャップ：白色 ボディ：濃い黄赤色
識別コード	CR40	C100

【この薬に含まれているのは？】

販売名	クレセンバカプセル 40mg	クレセンバカプセル 100mg
有効成分	イサブコナゾニウム硫酸塩74.5mg (イサブコナゾールとして40mg)	イサブコナゾニウム硫酸塩186.3mg (イサブコナゾールとして100mg)

添加剤	無水クエン酸マグネシウム、結晶セルロース、タルク、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸 カプセル本体：エデト酸二ナトリウム、ラウリル硫酸ナトリウム、ヒプロメロース
-----	--

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：旭化成ファーマ株式会社

(<https://www.asahikasei-pharma.co.jp/>)

くすり相談窓口

電話：0120-114-936

受付時間：9：00～17：45（土日祝休業日を除く）